

2024年度 第1回 藤沢市立六会中学校 学校運営協議会会議録

開催日時 2024年 5月 23日（木）10時～

場 所 六会中学校 体育館会議室

出席委員	<p>五十嵐 直美（六会地区青少年育成協力会 副会長） 滝内 洋子（学園都市むつあい協力者会議 会長） 堀田 英二（前六会地区自治連合会会長、六会中学校学習支援員） 堀口 陽子（六会地区民生委員児童委員協議会 会長） 山本 裕章（六会地区青少年育成協力会 会長） 人見 甲子郎（フリースクール森の仔じゅうがっこう 事務局長） 江添 達男（六会市民センター長） 玉置 日菜子（六会地区担当 CSW） 角田 督（六会中学校 PTA 会長） 大石 由佳（六会中学校 校長） 浅場 純子（六会中学校 教頭）</p>
次第	<p>1. 開会 大石校長挨拶 2. 委嘱状の交付 3. 自己紹介 4. 会長ならびに副会長の選出 会長：五十嵐委員（推薦） 副会長：大石委員（推薦） ※会議の傍聴についての確認（浅場委員） 5. 議題 令和6年度藤沢市立六会中学校 学校運営方針について 6. その他 昨年度の取り組みの経過について 今後の会議日程の確認 7. 閉会</p>
協議内容	<p>（意見等） * 5について ・校内教育支援センター等支援員は誰でもなれるのか。（角田委員） ・教員免許の有無は問わないが、年齢の条件等はある。（大石副会長） ・学校経営方針は生徒の目にも触れるものなのか。（人見委員） ・キャッチフレーズ等を教室に掲示したり、折に触れて話題にあげている。（大石副会長） ・「達成する」「努力」「夢をもとう」などといった言葉、メッセージは、頑張ることは良いことという考えにつながるバイアスがかかることもある。出来ない</p>

- 子どもにとっては強い言葉でもあるので、頑張らなくてもいいんだよというメッセージもあるとより良いと感じた。(人見委員)
- ・「失敗を恐れずチャレンジ」には、失敗しても良い土壌があることが大切だという意味合いもある。以前聞いた講演で、100%じゃなくて良い、7-8割で良いという話があり、教員に共有したいと思っていたが生徒にも伝えていきたい。(大石副会長)
 - ・学校経営方針としてよいと思う。以前聞いた講演で、「普通とは何か」という話を聞いた。「あたりまえ」という言葉があるが、そこを深めていく必要があると感じた。教員の欠員は本来はあってはならないこと。うまくICTを活用していくといい。例えば授業を複数教室に配信するなど、効果的に使い分けられると良いのではないか。(江添委員)
 - ・コロナ禍では複数教室に配信したこともあったが評価の難しさもある。(大石副会長)
 - ・生徒は配信と対面、どちらが良いと感じているのか。(五十嵐委員)
 - ・対面の方がわかりやすく良いという声が多い。(大石副会長)
 - ・学校教育目標の「あたりまえ」「バカにせず」という言葉は、一度検討しても良いのではないか。(堀田委員)
 - ・ワードとしては子どもに入りやすいかもしれない。印象付けることと言葉の意味を考えさせること、どちらに重点を置くかによる。生徒の主体性を育むという方針なのであれば、道徳の時間などに生徒達が話し合い、考えてみるとよいと思う。(人見委員)
 - ・「失敗を恐れずチャレンジ」という言葉は良いと思う。日本の文化的にどうしても息苦しさを感じると思う。(角田委員)
 - ・別室投稿の4,5月の状況はどうか。(五十嵐会長)
 - ・教室に行こうと頑張っている生徒も多く、昨年度末と比べると利用者は少ない。(大石副会長)
 - ・部活動の入部状況はどうか。(山本委員)
 - ・どこにも所属しない生徒はわずか。(大石副会長)
 - ・補導、たばこ、飲酒などの状況はどうか。(山本委員)
 - ・なくはない。(大石副会長)
 - ・タバコや飲酒だけではなく、最近はオーバードーズなども多い。(五十嵐会長)
 - ・そういうことをしてしまう子どもは、家や学校で怒られたりと、居場所がないと感じている子どもも多いのではないか。(山本委員)
 - ・目に見える行動イコールヘルプを出してくれているということ。指導ではなく、ありがとう、話を聞かせてほしいというスタンスが大事。そういうことをやらざるを得ない状況にいることを理解してくみ取れる大人はまだ少ない。(人見委員)
 - ・休み時間の巡回指導はそういった非行防止という面もあるのか。(玉置委員)
 - ・それもあるが、授業の2分前着席を推奨していることや、雑談の中でキャッチできることがあると思っている。(大石副会長)
 - ・オフの時間にコミュニケーションをとることでまた違った顔が見れたり、サインをキャッチ出来ることもあるかもしれない。(玉置委員)
 - ・自分がやっているスポーツ教室に来る子どももみんな違う。中には「話したい」から来ている子もいる。時代が変わりつつある中で子どもも大変だと思うが、大人も子どもと一緒に成長していけたらと思う。(滝内委員)

- 別室、放課後学習会、日本語指導へ通う子どもたちも、通う理由は様々。小さなことでも一つひとつクリアしていくことで自信につながるとよいと思う。(堀田委員)
- 話をしっかり聞くことが大事。(山本委員)
- 集団の中では話さなくても、1対1だとたくさん話して楽しかったと話す生徒もいる。(大石副会長)
- 話を聞いてくれる人かどうかは、子どもはきちんと嗅ぎ分けている。(人見委員)
- 先生向けのカウンセラーはいないと聞いて驚いた。(山本委員)
- 精神科医はいるが、予約など手間が必要。先生のケアも大切。(大石副会長)
- 大人が元気でないといけない。親にサポートが必要なことも多いので、必要に応じて様々な機関と連携していけると良い。(五十嵐会長)
- 家庭の許可がないと入れず、拒否されてしまうと繋ぐことが難しい。どこにも繋がれない家庭がある。(大石副会長)
- PTAなどで座談会や懇談会はあるのか。(人見委員)
- やっていない。PTA加入者が全員ではないこともある。(角田委員)

次回開催日程 9月20日(金)
会 場 六会中学校